


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立大里柳小学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	トランポリン教室：6年生児童（94名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名(体育)</p> <p>② 行事名(トランポリン体験特別授業)</p> <p>③ その他( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名( )</p> <p>② その他( )</p>
4 目標 (ねらい)	○東京オリンピック競技種目となっているトランポリンを体験したり、競技者と交流したりすることを通して、大会競技を身近に感じ、楽しさを実感する。また、トランポリンでの活動を通して、東京オリンピックに出場したアスリートに対する関心をもたせ、生涯にわたる体力の維持・向上に対する意識を高め、積極的にスポーツに取り組もうとする心情を養う。
5 取組内容	<p>(1) 令和3年12月10日(金)「第6学年トランポリン体験教室」講師：トランポリンクラブ スペースウォーク</p> <p>6年生児童を対象にトランポリン教室指導者を招いて、トランポリン体験教室を開催した。</p> <p>各クラス6グループに分かれて、1人ずつ指導員のサポートを受けながらトランポリンに上がり、起立した姿勢でバウンドする初歩的なものから、座位や仰向けの姿勢からバウンドして立ち上がる動きや高度な動きのものまでチャレンジし、トランポリンを使って体が浮き上がる感覚を体験した。児童からは、「うまくバランスをとることが難しかったけれど、フワッと体が浮かぶ感じが面白かった」「非日常的な体験で楽しい」などの感想をもつ児童が多かった。</p> 
6 主な成果	○今回の取組を行ったことで、スペースウォークの方による大技を間近で見ることができ、大会競技を身近に感じ、楽しさを実感することができた。また、このことで東京オリンピックに出場したアスリートへの関心が高まるものと考えられる。また、取組を

	通して、教え合ったり、アドバイスを聞いてチャレンジしたりする様子も見られ、スポーツに親しむ素地がより確かなものになることにつながった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○事前指導として、トランポリンがオリンピック種目であることについての学習を行ったため、より一層理解が深まった。 ○効率よく活動時間を確保するために、人数編成を細かく行い、一人一人の活動時間を充実させることができた。
8 主な課題等	○子どもにとってトランポリンを身近に感じてもらえるように学校での環境整備が必要である。
9 来年度以降の実施予定	○このオリンピック・パラリンピック教育を一つのイベントとして終わらせるのではなく、スポーツを「する」「見る」「支える」という視点で、日々の様々な教育活動と関連付け、カリキュラムマネジメントしていくことが大切であると考えます。コロナ禍においても、オリンピックスポーツを切り口に、子どもたちにとって有意義な活動を模索していく。